記入例（新小１）

令和〇年度就学援助費（新入学児童生徒学用品費等）支給申請書

（宛先）南砺市長　　令和　　年　　月　　日

住所：〒〇〇〇－〇〇〇〇
南砺市　**△△１２３番地**
（アパート名）
保護者氏名：　**南砺　たろう**
電話：　**□□□－□□□□－□□□□**

下記のものについて、令和〇年度において就学援助費（新入学児童生徒学用品費等）の支給を申請します。

入学予定校名　南砺市立　**〇〇　小学校**
現在籍校(園)名　**〇〇　保育園**
（現在特別支援学級在籍の場合：
学級名　　）
児童生徒氏名　**南砺　花子**

新中学１年生、義務教育学校７年生の方：
令和〇年度就学援助費支給認定を（　受けている　・　受けていない　）
（〇で囲んでください）

【申請理由　該当する事項に〇を付けてください。】

１．現在生活保護を受けている。……（　　年　　月　　日から）
２．前年度以降生活保護の廃止又は停止を受けた。
３．市民税が課せられない、又は減免の措置を受けている。…（　　年　　月　　日から）
４．国民年金の保険料の納付免除を受けている。……（　**令和３年　５月**　　日から）
５．国民健康保険の保険料の減免又は徴収猶予を受けている。（　　年　　月　　日から）
６．児童扶養手当を受けている。……（証書番号　　）
７．保護者が死亡して生活が困難である。……（　　年　　月　　日死亡）
８．保護者が病気療養中で生活が困難である。……（　　年　　月　　日から）
９．その他の理由で経済状態が悪く、学校集金等の支払に困っている。
理由を具体的に書いてください。

★申請理由欄は必ず記載してください。★
上記に該当項目のない方で、生活環境の変化等により経済的にお困りの方は、こちらに理由を具体的にご記入ください

同　意　書

・支給決定のために必要があるときは、世帯の収入状況及び市民税の課税状況等について、税務関係当局に報告を求めることに同意します。
・転出入があった場合は、当該市町村教育委員会間で支給状況確認を行うことに同意します。

保護者氏名　　**南砺　たろう**

記入例（新中１）

令和〇年度就学援助費（新入学児童生徒学用品費等）支給申請書

（宛先）南砺市長　　令和　　年　　月　　日

住所：〒〇〇〇－〇〇〇〇
南砺市　**△△１２３番地**
（アパート名）
保護者氏名：　**南砺　たろう**
電話：　**□□□－□□□□－□□□□**

下記のものについて、令和〇年度において就学援助費（新入学児童生徒学用品費等）の支給を申請します。

入学予定校名　南砺市立　**〇〇　中学校**
現在籍校(園)名　**〇〇　小学校**
（現在特別支援学級在籍の場合：
学級名　**〇〇学級**）
児童生徒氏名　**南砺　花子**

新中学１年生、義務教育学校７年生の方：
令和〇年度就学援助費支給認定を（受けている・　受けていない）
（〇で囲んでください）

【申請理由　該当する事項に〇を付けてください。】

１．現在生活保護を受けている。……（　　年　　月　　日から）
２．前年度以降生活保護の廃止又は停止を受けた。
３．市民税が課せられない、又は減免の措置を受けている。…（　　年　　月　　日から）
４．国民年金の保険料の納付免除を受けている。……（**令和３年　５月**　　日から）
５．国民健康保険の保険料の減免又は徴収猶予を受けている。（　　年　　月　　日から）
６．児童扶養手当を受けている。……（証書番号　　）
７．保護者が死亡して生活が困難である。……（　　年　　月　　日死亡）
８．保護者が病気療養中で生活が困難である。……（　　年　　月　　日から）
９．その他の理由で経済状態が悪く、学校集金等の支払に困っている。
理由を具体的に書いてください。

★申請理由欄は必ず記載してください。★
上記に該当項目のない方で、生活環境の変化等により経済的にお困りの方は、こちらに理由を具体的にご記入ください

同　意　書

・支給決定のために必要があるときは、世帯の収入状況及び市民税の課税状況等について、税務関係当局に報告を求めることに同意します。
・転出入があった場合は、当該市町村教育委員会間で支給状況確認を行うことに同意します。

保護者氏名　**南砺　たろう**

就学援助費・奨励費に係る収入額・需要額調書

（記入例）

令和8年度

令和9年度の入学予定校名をご記入くだ

保護者等（申請者）氏名	住所	児童・生徒氏名	入学予定校名	長承認
南砺　太郎	〒○○○-○○○○ 南砺市△△123番地	南砺　花子	○○小学校・１年	

おける通減率　（Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵ）
地域の級地区分
1-1、1-2、2-1、2-2、3-1、3-2

世帯の収入状況			世帯の状況（前年12月末日現在） 収入のある世帯員 氏名	生年月日（満年齢）	続柄（該当に丸を付け、その他は具体的に記載）	在学学校名・学年（特別支援学級名）	需要額等 教育扶助基準 基準額	教材代	学校給食費	通学費	生活扶助基準 第1類	期末一時扶助費	障害者/母子加算額	第2類
所得控除前の	総所得金額☆	円	南砺　太郎	S◇年12月12日 46才	父・母・本人・祖父母・その他						円	円		h（基準額）
	退職所得金額		南砺　福子	S□年6月6日 44才	父・母・本人・祖父母・その他									円
	山林所得金額		南砺　光男	S◆年7月7日 80才	父・母・本人・祖父母・その他									i（地区別冬季加算額）
	計	A		年　月　日 才	父・母・本人・祖父母・その他									円
所得控除	雑損控除		収入のない世帯員 氏名	生年月日（満年齢）	続柄（該当に丸を付け、その他は具体的に記載）	在学学校名・学年（特別支援学級名）								j 生活扶助基準計（e×逓減率、f～iの合計）
	社会保険料		南砺　花子	R◇年10月10日 5才	本人									
	小規模企業共済等掛金控除		南砺　利子	H□年9月9日 9才	兄・姉・弟・妹・その他	○○小学校 4年（▲▲学級）								k 住宅扶助基準
	生命保険料		南砺　波男	H◆年8月8日 6才	兄・姉・弟・妹・その他	○○小学校 1年								円
	地震保険料			年　月　日 才	兄・姉・弟・妹・その他									l 需要額（a～d、j、kの合計）
	ひとり親又は寡婦控除の額 ※保護者等のみ			年　月　日 才	兄・姉・弟・妹・その他									円
	計	B		年　月　日 才	兄・姉・弟・妹・その他									収入額/需要額
所得額（A－B）		C		年　月　日 才	兄・姉・弟・妹・その他									D/l = =
収入額（C×1/12）		D	合計				a	b	c	d	e	f	g	

・令和7年12月末日現在、生計を同一にする世帯員全員をご記入ください。

・「満年齢」についても、令和7年12月末日現在での年齢をご記入ください。

・現在籍校ではなく、令和7年中に小中義務教育学校・特別支援学校に就学していた兄弟姉妹がいる場合は、在籍校と学年（特別支援学級在籍の場合は学級名も）をご記入ください。

通学費明細（特別支援学校・学級への通学費を要した者ごとに記入すること）

特記事項
□ 要保護者　（□ 被保護 ・ □ 要保護）

支弁区分
□Ⅰ段階（令第２条第１号該当）
□Ⅱ段階（〃　第２号該当）
□Ⅲ段階（〃　第３号該当）

（注）１．特記事項欄は生活保護等の該当事項を記入すること。
２．整理番号は個人別支給台帳の番号に合わせること。
３．収集した個人番号は、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律別表第二の主務省令で定める事務及び情報を定める命令（平成26年内閣府・総務省令第7号）第23条に基づく事務に限って使用します。